

青木繁展

没後100年

—よみがえる神話と芸術

AOKI Shigeru — Myth, Sea and Love

2011年 5月27日(金) — 7月10日(日)

京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

The National Museum of Modern Art, Kyoto



そして青木は
伝説となった——。
最初で最後の
大回顧展。

重要文化財 《海の幸》(部分)1904年 石橋財団石橋美術館

開館時間：午前9時30分～午後5時(金曜日は午後8時まで開館。入館は閉館の30分前まで) 休館日：月曜日

観覧料：当日 | 一般1200円、大学生900円、高校生500円 前売り・団体(20名以上) | 一般1000円、大学生700円、高校生300円

※中学生以下、障がい者手帳等お持ちの方と付添者(1名)は無料。(入館の際に証明できるものをご提示ください)

※本料金でコレクション展もご覧いただけます。

※お得な前売券は、3月11日から5月26日までの期間限定発売。

※前売券はチケットぴあ(Pコード764-564)、ローソンチケット(Lコード53458)ほか主要プレイガイド、コンビニエンスストアなどで発売。

※会期中は当日券のみの発売となりますのでご注意ください。

お問合せ：京都国立近代美術館 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話：075-761-4111

テレホンサービス(展覧会のご案内)：075-761-9900 ホームページ：<http://www.momak.go.jp>

主催：京都国立近代美術館、毎日新聞社、京都新聞社 協賛：日本写真印刷



《自画像》1904年、東京芸術大学大学美術館



《眼》1904年、個人蔵



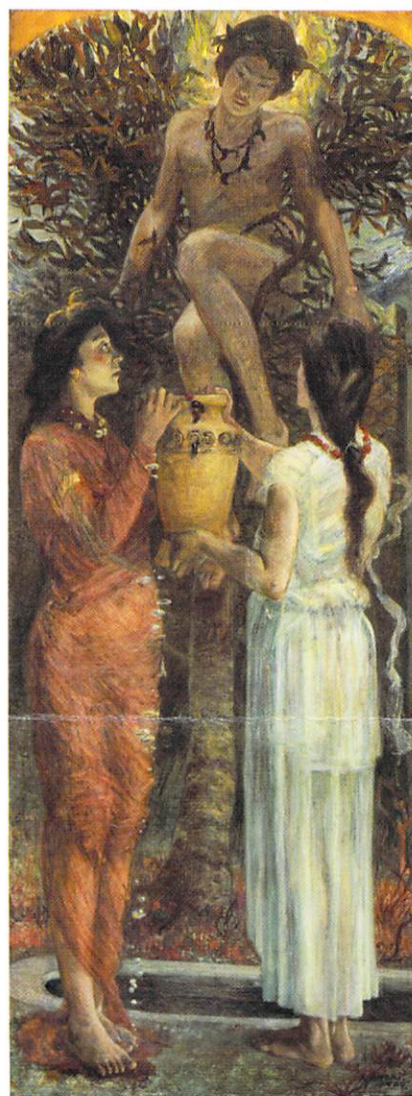
《女の顔》1904年、個人蔵

28歳で世を去り、「天才」と呼ばれて数々の伝説に彩られた青木繁。その没後100年を記念し、このたび空前の規模と内容で、関西では初めての回顧展が開催の運びとなりました。

明治の浪漫主義と呼ばれる時代を背景に、青木が弱冠22歳で描いた《海の幸》は、わが国の絵画史を代表する名作といって過言ではないでしょう。そして発表当時は評価を得られなかった《わだつみのいるこの宮》をはじめとした神話や旧約聖書物語など、青木は時空を超えた主題にも没頭し、当時としてはきわめて稀なスケールの大きな画家であったことを忘れてはなりません。

青木の短い生涯は、経済的な不遇や健康上の不幸、愛と放浪の旅に加えて、きわめて強い自負心によって数々の逸話を生み出してきました。青木が残した作品も、所在不明のものを含めて約440点と考えられています。そして今回、青木繁のその再評価、真の実像に迫ることができるよう、以下の5章に、油彩画約70点、水彩・素描160点、さらに多数の関連資料を含めた、まさに決定版というべき回顧展の開催が可能となりました。

- 第1章 画壇への登場—丹青によって男子たらん 1903年まで
- 第2章 豊饒の海—《海の幸》を中心に 1904年
- 第3章 描かれた神話—《わだつみのいるこの宮》まで 1904—07年
- 第4章 九州放浪、そして死 1907—11年
- 第5章 没後、伝説の形成から今日まで



重要文化財《わだつみのいるこの宮》1907年、石橋財団石橋美術館



《旧約聖書物語挿絵】より葦舟のモーゼ）1906年、ニューオーサカホテル



《朝日（絶筆）》1910年、佐賀県立小城高等学校同窓会黄城会



《自撰の家》1909年、個人蔵

講演会

日時：2011年5月28日(土) 午後2時から3時30分まで
演題：「青木繁をめぐる旅—伝説とゆかりの地を訪ねて—」
講師：植野健造氏(石橋財団石橋美術館学芸員)

いずれも会場は京都国立近代美術館1階講堂、定員100名(聴講無料、当日午前11時から受付にて整理券を配布します)

会期中のイベント

NFC所蔵作品選集

MoMAK Films@home【外国アニメ映画上映】

日時：6月11日(土)・12日(日)14時～

『西遊記』(1941年)ほか
中国、イギリス、ソ連・東欧、アメリカのアニメ映画特集
上映作品、各スケジュールについては
HP(www.momak.go.jp)をご覧ください

会場：京都国立近代美術館1階講堂

料金：1プログラム500円

主催：京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター

巡回情報

石橋美術館 | 2011年3月25日(金)～5月15日(日)

ブリヂストン美術館 | 2011年7月17日(日)～9月4日(日)

特別展示

森村泰昌《海の幸・戦場の頂上の旗》

映像作品 2010年、作家蔵

4階コレクション・ギャラリーにて会期中ご覧いただけます

日時：2011年6月18日(土) 午後2時から3時30分まで
演題：「世紀末ロマン派の夢と苦悩」
講師：高階秀爾氏(大原美術館館長)

いずれも会場は京都国立近代美術館1階講堂、定員100名(聴講無料、当日午前11時から受付にて整理券を配布します)



【お問合せ】 京都国立近代美術館【岡崎公園内】

〒606-8344 京都市左区岡崎円勝寺町

電話 | 075-761-4111

テレホンサービス(展覧会のご案内) | 075-761-9900

ホームページ | <http://www.momak.go.jp>

【交通】 ●JR-近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●JR-近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行)銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪祇園四条駅から市バス46番 平安神宮行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●市バス他系統「東山二条」又は「京都都会館美術館前」下車 徒歩約5分 ●地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分 ●お車でお越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は駐車場の割引(1台1人)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください